



令和5年度

志和池小だより

くすのき



第2号

令和5年5月26日
都城市立志和池小学校

地域に見守られ



毎月第3水曜日は、志和池地区の「見守りの日」。
この日は、いろいろな場所で地域の方々が子ども達の登下校を見守ってくださいます。そして、声もかけてくださいます。
また、毎朝、登校時に立ってくださる方々もいらっしゃいます。志和池は交通量が多いので、とてもありがたいことです。
志和池小に来て、子ども達のあいさつがよいことに驚かされました。きっと、このような見守りのおかげで、子ども達は育っているのだと実感しました。
そして、そのことを子ども達自身も感じていることと思います。
地域の皆様、ありがとうございます。そして、今後ともよろしくお願ひします。



あたりまえのような毎日

～それがありがたい～

毎朝、高学年を中心にボランティア清掃活動に精を出す子ども達がいっぱい。
志和池小の伝統です。
あたりまえのような毎日の風景です。



でも、ふと考えてみると、これが実に「ありがたい」ことに気付かされます。
子ども達のこのような活動がなければ、当然、運動場ばかりでなく、道路にも落ち葉が散乱し、近隣に迷惑を掛けることになります。子ども達のがんばり、ありがたいことです。
そして、子ども達がこの活動により、気持ちよく1日をスタートできる。
学校の木「クスノキ」のおかげでしょう。ありがたいことです。

今年度も朝の読み聞かせがスタートしました。
志和池地区の読み聞かせグループ「志和っ池」のみなさんに、毎月読み聞かせをしていただきます。
身を乗り出して聞いたり、一つ一つの言葉や絵に反応しながら聞いたりして楽しんでいます。
地区のグループですから、幼・保育園、小学校（志和池小、丸野小）から中学校まで活動しているそうです。保育園で聞いた子どもが中学校まで続けてお世話になるのですから、温かい言葉と絵にふれながら育っているのだと実感しました。活動を始めて19年目と聞いています。
読み聞かせの数日前から、本を選びに来られていました。きっと練習されて臨まれているのでしょう。
また、活動される皆さんの会話から、地域を大事に思う気持ちを強く感じました。
地域にこのような活動をしてくださる方がいらっしゃることを身近に感じながら、子ども達は成長していくのでしょう。
ここでも、地域に見守られていることを実感します。
ありがたいことです。

本に親しみ、育つ



タブレットを使って互いの作品を見る



1年生は、図工の時間にねんど遊びをしました。
つくった作品をタブレットで写真に撮り、Googleスライドに写真を貼り付けて共有しました。
こうすることで、互いの作品を紹介し合うこともできるし、作品集としてアルバム化することもできます。
子ども達は撮影した自分の作品にタブレット上で飾り付けをして、作品をさらに楽しい物に上げていました。

5月27日(土)、28日(日)に日南で開催される「全日本学童軟式野球大会の県大会に、志和池野球少年団が都城地区の代表として出場します。がんばれ！